

路面電車の軌道構造について

軌道構造の主な種類と構造について、下表に示す。

砕石が露出しているか否かで騒音・振動の大きさに違いが生じることから、環境アセスメントの予測・評価では、これらの構造を便宜的に『バラスト軌道』、『スラブ軌道』、『樹脂固定軌道』の3種類に分類している。

軌道構造の種類	構造図または写真	構造	主な使用箇所	アセス上の分類
バラスト軌道		<ul style="list-style-type: none"> ・砕石にまくら木を敷き、レールを釘などで固定したもの 	宇品線の広島港電停付近 (宮島線のほぼ全線)	バラスト軌道
バラスト軌道+石張り		<ul style="list-style-type: none"> ・バラスト軌道の表面に石を張ったもの ・騒音や振動はバラスト軌道よりやや大きい 	ほとんどの市内線区間	スラブ軌道
バラスト軌道+コンクリート張り		<ul style="list-style-type: none"> ・バラスト軌道の表面にコンクリートを張ったもの ・騒音や振動はバラスト軌道よりやや大きい 	宇品線などの市内線区間の一部	スラブ軌道
接続ブロック		<ul style="list-style-type: none"> ・バラストやまくら木の代わりに、鉄筋コンクリートの板状のブロックを用いるもの ・レールとブロックとの固定は締結金具で行う 	市内線のうち主要な交差点の部分	スラブ軌道
樹脂固定軌道		<ul style="list-style-type: none"> ・接続ブロックと類似しているが、ブロックの溝に樹脂を流してレールを固定する ・騒音や振動は最も小さくできる 	宇品線の一部など 軌道緑化を行っている区間	樹脂固定軌道